

## 第23回 福岡県地域エネルギー政策研究会 日下座長 総括コメント

- 本日、第23回福岡県地域エネルギー政策研究会を開催し、検討テーマを「長期エネルギー需給見通し（エネルギーミックス）を踏まえた今後の地方の取組み」、サブテーマを「新たなエネルギー関連産業の育成・集積による地域振興・雇用創出に向けて」として、特に風力発電に重点を置いた議論を行いました。
- 今回の研究会では、まず事務局から「これまでの経過」として、前回の議論の概要について、報告がありました。
- 次に、経済産業省 資源エネルギー庁 省エネルギー・新エネルギー部 新エネルギー課の保田課長補佐から、「再生可能エネルギーの主力電源化に向けた政府の取組み」と題して御講演をいただきました。  
講演では、再生可能エネルギー全体と風力発電、それぞれの視点から現状、課題及び今後の方向性について御教示いただきました。  
今後の地方の取組みを考える上でも、貴重な情報を御提供いただけたと、保田課長補佐には感謝しております。
- 次に、一般社団法人 日本風力発電協会の上田国際・広報部長から、「世界における洋上風力発電の動向と国内の現状について」御講演をいただきました。  
講演では、世界における洋上風力発電の開発の歴史や調査から撤去までの流れ、県内企業の取組みをお示しいただくなど、大変有益なお話をいただきました。
- 次に、株式会社日立製作所の松信技術参事から、「洋上風力発電と関連産業」について、御講演をいただきました。  
講演では、企業の立場から、市場の動向や、洋上風力発電の幅広い関連産業について御教示いただくなど、地域振興・雇用創出を考える上で、大変有益なお話をいただきました。
- 次に、九州電力株式会社の小倉委員から、「九州本土における再生可能エネルギーの出力制御について」、ご報告いただきました。
- 次に、これらの講演・報告を基に、風力発電の導入拡大及び地域振興・雇用創出を実現するための地方の取組みについて委員間で討議を行いました。
- 最後に、当研究会の今後の活動（案）について、事務局から説明がありました。
- 各委員からの積極的な意見・助言により、「長期エネルギー需給見通しを踏まえた今後の地方の取組み」として、風力発電の導入拡大及び地域振興・雇用創出を実現するための地方の取組みの方向性が示されましたので、県をはじめ各主体におかれては、今後の取組みに活かしていただきたいと思いますと考えております。